

---

# 2014年3月期 第2四半期 決算説明資料

---

野村不動産ホールディングス株式会社  
(東証1部 3231)

# 2014年3月期 第2四半期累計期間 連結決算概要

(単位:億円)	13/3期 2Q 実績 ①	14/3期 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	主な増減要因
売上高	2,225	2,519	+293	<売上高> ・住宅分譲における売上計上戸数の増加
営業総利益	661	767	+106	
販売費及び一般管理費	352	403	+50	
営業利益	309	364	+55	<営業利益> ・売上高の増加、資産運用・仲介CRE事業のフィーの増加
営業外収益	20	7	△12	
営業外費用	76	60	△15	
経常利益	252	311	+58	<経常利益・四半期純利益> ・営業利益の増加、支払利息の減少
特別利益	—	5	+5	
特別損失	—	2	+2	
法人税等	101	121	+19	
少数株主損益	17	17	△0	
四半期純利益	132	175	+42	
1株当四半期純利益(円)	69.73	92.05	+22.32	
1株当配当金(円)	15.00	15.00	±0	
総資産	13,669	13,237	△432	・営業エクイティ投資の減少
有利子負債	7,201	6,249	△952	・長期借入金(1年以内含む)の減少
自己資本	3,280	3,488	+207	
自己資本比率	24.0%	26.4%	+2.4P	
D/Eレシオ	2.2	1.8	△0.4	
営業活動によるCF	+257	+618	+361	
投資活動によるCF	△31	△194	△163	
財務活動によるCF	△408	△470	△61	
現金及び現金同等物期末残高	521	579	+57	

# 2014年3月期 第2四半期累計期間 セグメント別決算概要

(単位:億円)	13/3期 2Q 実績 ①	14/3期 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	主な増減要因
売上高	2,225	2,519	+293	<売上高>
住宅事業	1,253	1,471	+218	・住宅分譲における売上計上戸数の増加
賃貸事業	488	468	△20	・前2Qにおける請負工事の売上計上の反動
資産運用事業	53	74	+20	・フィー収入の増加
仲介・CRE事業	124	132	+7	・仲介手数料の増加
運営管理事業	306	324	+17	
その他の事業	73	97	+24	
調整額	△73	△49	+23	
営業利益	309	364	+55	<営業利益>
住宅事業	128	156	+28	・住宅分譲における売上計上戸数の増加
賃貸事業	142	141	△1	
資産運用事業	27	49	+22	・フィー収入の増加
仲介・CRE事業	22	34	+11	・仲介手数料の増加
運営管理事業	19	20	+1	
その他の事業	2	2	+0	
調整額	△33	△40	△7	

# 2014年3月期 連結業績予想の修正について

(単位:億円)	13/3期 実績	14/3期 当初予想 ①	14/3期 今回予想 ②	増減額 ②-①	主な増減要因
売上高	5,177	5,180	5,200	+20	<売上高>
住宅事業	3,084	3,080	3,090	+10	・住宅分譲における販売価格の上昇
賃貸事業	1,066	900	920	+20	・収益不動産売却の増加
資産運用事業	111	170	180	+10	・フィー収入の増加
仲介・CRE事業	260	240	250	+10	・仲介手数料の増加
運営管理事業	663	700	700	±0	
その他の事業	149	190	170	△20	・売却予定物件の見直し
調整額	△159	△100	△110	△10	
営業利益	583	600	650	+50	<営業利益>
住宅事業	327	270	310	+40	・住宅分譲の粗利益率の改善、経費の減少
賃貸事業	233	235	240	+5	
資産運用事業	△27	70	80	+10	・フィー収入の増加
仲介・CRE事業	61	50	55	+5	
運営管理事業	44	45	45	±0	
その他の事業	4	5	5	±0	
調整額	△61	△75	△85	△10	・経費の増加
経常利益	458	480	540	+60	
当期純利益	193	210	220	+10	
1株当たり当期純利益	101.61	110.18	115.33	+5.15	
1株当たり配当金	30.00	30.00	30.00	±0	

# 2014年3月期 第2四半期 連結貸借対照表概要

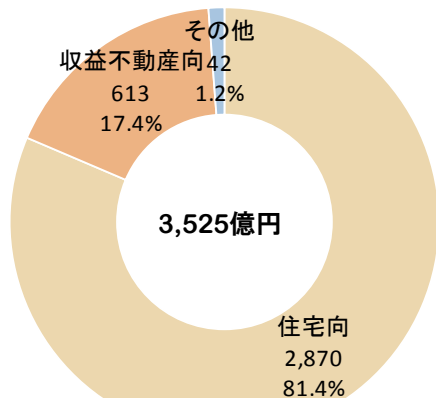
(単位:億円)	13/3期 期末 ①	14/3期 2Q 期末 ②	増減額 ②-①	主な増減要因			
<b>資産</b>	<b>13,699</b>	<b>13,237</b>	<b>△462</b>				
流動資産	5,351	4,913	△437	< たな卸資産 >			
(主な内訳)					2013/3末	2013/9末	増減額
現預金等	624	579	△45	住宅向	2,967	2,870	△96
受取手形及び売掛金	132	113	△19	収益不動産向	671	613	△57
たな卸資産	3,696	3,525	△170	その他	59	42	△17
営業エクイティ投資	295	93	△202	調整額	△1	△0	+0
その他流動資産	600	601	+0	計	3,696	3,525	△170
固定資産	8,348	8,323	△24	※住宅向…住宅事業セグメント			
有形固定資産	7,373	7,292	△81	※収益不動産向…賃貸事業、資産運用事業、仲介・CRE事業セグメント			
無形固定資産	94	93	△0	※その他…運営管理事業、その他事業セグメント			
投資その他の資産	880	938	+58	< 営業エクイティ投資 >			
(主な内訳)				・ 私募ファンドの償還による営業エクイティ投資の回収			
投資有価証券	461	508	+46				
敷金及び保証金	177	187	+10				
その他固定資産	241	242	+0				
<b>負債</b>	<b>9,716</b>	<b>9,108</b>	<b>△608</b>				
流動負債	3,148	2,694	△453				
(主な内訳)							
支払手形及び買掛金	493	334	△158	< 支払手形及び買掛金 >			
短期借入金	1,675	1,390	△285	・ 住宅分譲などの工事代金の支払い			
預り金	212	254	+42				
その他流動負債	766	715	△51				
固定負債	6,568	6,413	△154				
(主な内訳)							
社債	330	330	±0	< 有利子負債 >			
長期借入金	4,686	4,529	△157	・ 営業エクイティ投資、たな卸資産の回収により借入金の一部を返済			
受入敷金保証金	551	554	+2				
その他固定負債	999	999	+0				
< 有利子負債 >	6,692	6,249	△443				
純資産	3,982	4,129	+146	< 自己資本 >			
負債・純資産合計	13,699	13,237	△462	・ 13/3期末 3,362億円 → 14/3期 2Q末 3,488億円			
自己資本比率	24.5%	26.4%	+1.8P				
D/Eレシオ	2.0	1.8	△0.2				

# 2014年3月期 第2四半期 連結貸借対照表概要

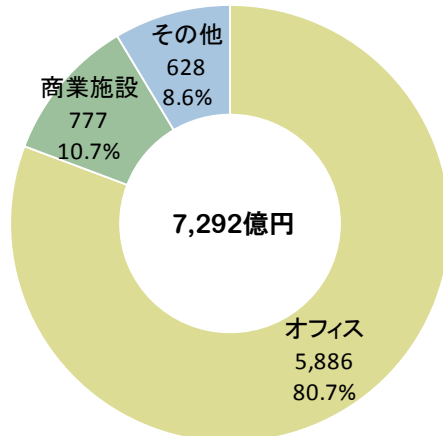
総資産合計: 13,237 億円

流動資産		負債	
流動資産	4,913	負債	9,108
現預金等	579	有利子負債	6,249
受取手形及び売掛金	113	短期借入金他	1,390
たな卸資産	3,525	社債	330
住宅向	2,870	長期借入金	4,529
収益不動産向	613	支払手形及び買掛金	334
その他	42	預り金	254
調整額	△0	その他の流動負債	715
営業エクイティ投資	93	受入敷金保証金	554
その他の流動資産	601	その他の固定負債	999
固定資産	8,323	純資産	4,129
有形固定資産	7,292	自己資本	3,488
オフィス	5,886	新株予約権	12
商業施設	777	少数株主持分	628
その他	628		
無形固定資産	93		
投資その他の資産	938		

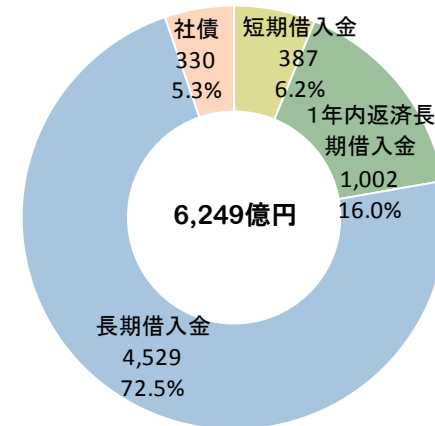
たな卸資産



有形固定資産



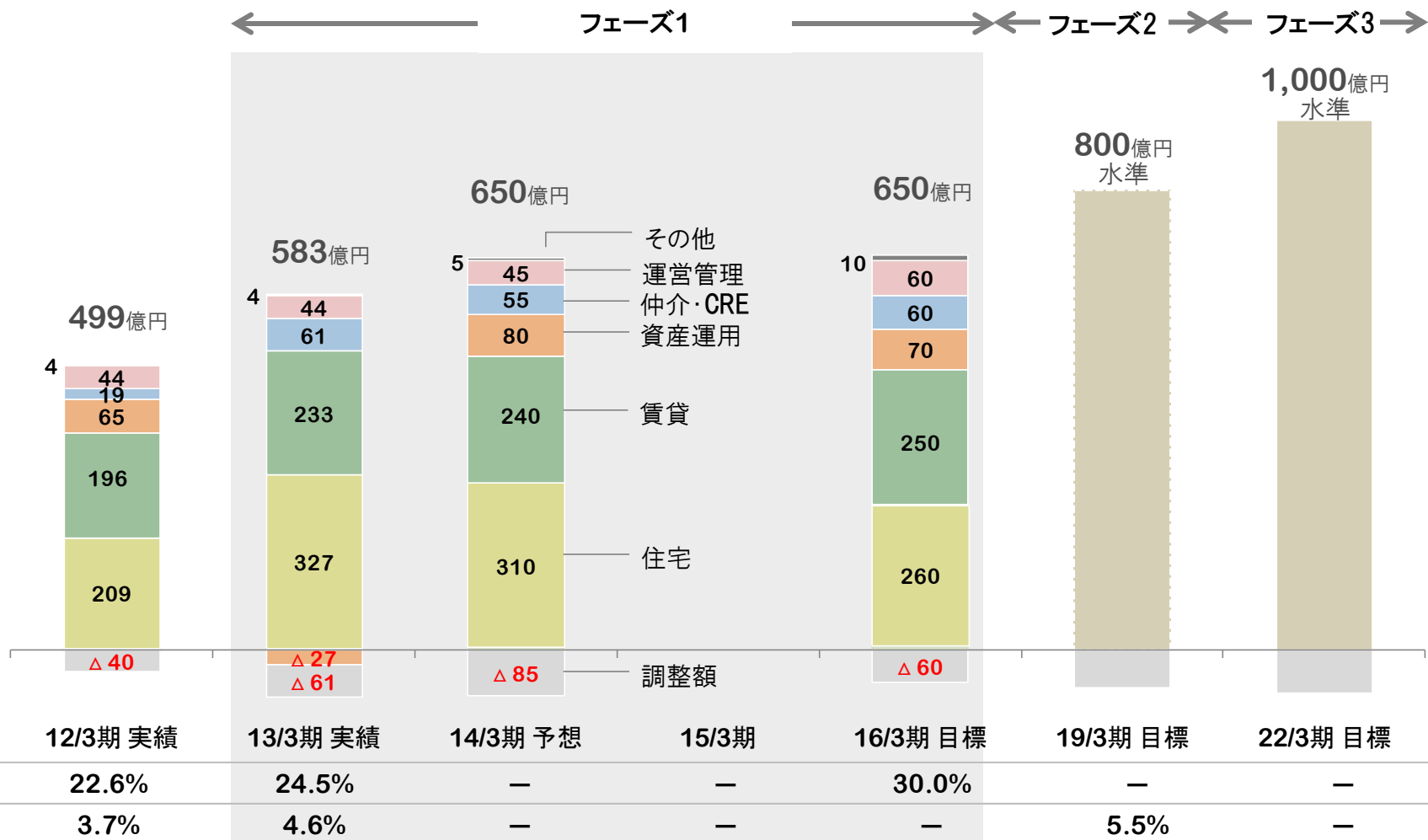
有利子負債



住宅向...住宅事業  
収益不動産向...賃貸事業、資産運用事業、仲介・CRE事業

# 中長期経営計画 フェーズ1(3カ年計画)進捗について

- ◆ 2016年3月期における営業利益目標650億円を2期前倒しで、今期に達成見込み。
- ◆ 自己資本比率・ROAの目標に対しても、順調に進捗。



※12/3期実績は、野村不動産リフォーム株式会社の実績を運営管理事業に含んだ数値で記載

# 【セグメント別概要：住宅事業】

## ◆ 売上計上戸数の大幅な増加により、増収増益。

住宅分譲における粗利益率は、**21.6%**（13/3期2Q比△0.9ポイント）。

(単位：億円)	13/3期 2Q	14/3期 2Q	増減額 ②-①	13/3期	14/3期	増減額 ④-③	14/3期	増減額 ④-⑤
	実績 ①	実績 ②		実績 ③	修正予想 ④		当初予想 ⑤	
売上高	1,253	1,471	+218	3,084	3,090	+5	3,080	+10
住宅分譲	1,137	1,387	+249	2,818		—	—	—
その他	115	84	△31	265	—	—	—	—
営業利益	128	156	+28	327	310	△17	270	+40
【住宅分譲関連指標】								
計上戸数(戸)	2,114	2,740	+625	5,749	6,200	+451	6,200	±0
マンション	1,844	2,474	+629	5,111	5,450	+339	5,450	±0
戸建住宅	270	266	△3	638	750	+112	750	±0
首都圏	1,851	2,234	+382	4,410	4,750	+340	4,750	±0
関西圏	128	345	+217	739	900	+161	900	±0
その他	135	160	+25	600	550	△50	550	±0
期末契約済未計上残(戸)	5,451	7,053	+1,602	5,400	—	—	—	—
期末完成在庫戸数(戸)	58	42	△16	42	—	—	—	—
平均価格(万円)	5,378	5,062	△315	4,902	—	—	—	—
粗利益率(%)	22.5%	21.6%	△0.9P	22.5%	—	—	—	—
賃貸住宅計上戸数(戸)	296	133	△163	534	133	△401	200	△67



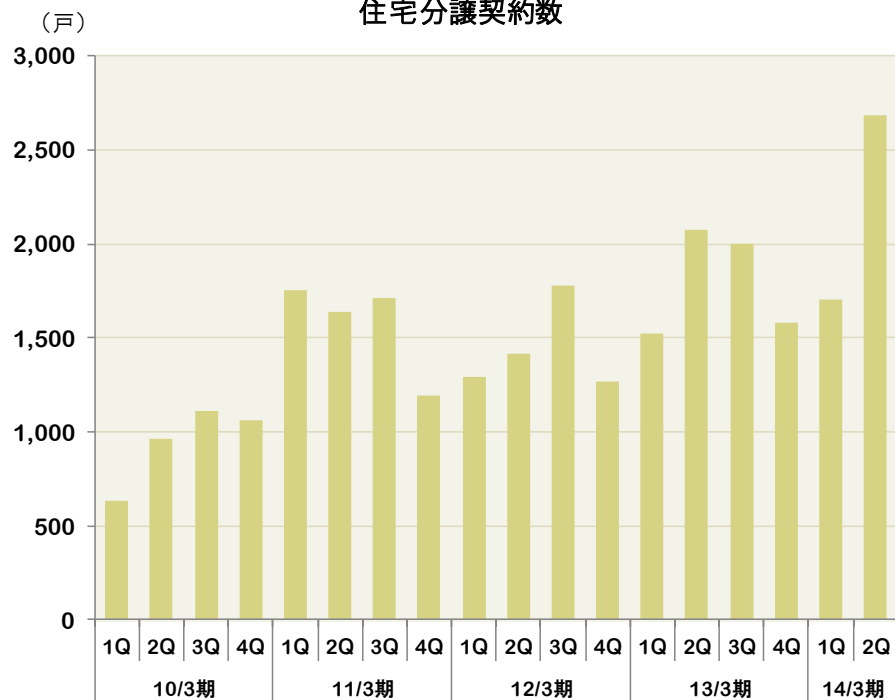
## ◆ 住宅分譲契約数

14/3期2Qは、Tomihisa Cross等の大型物件の供給が増えたため、契約数は**2,690戸**と過去最多。

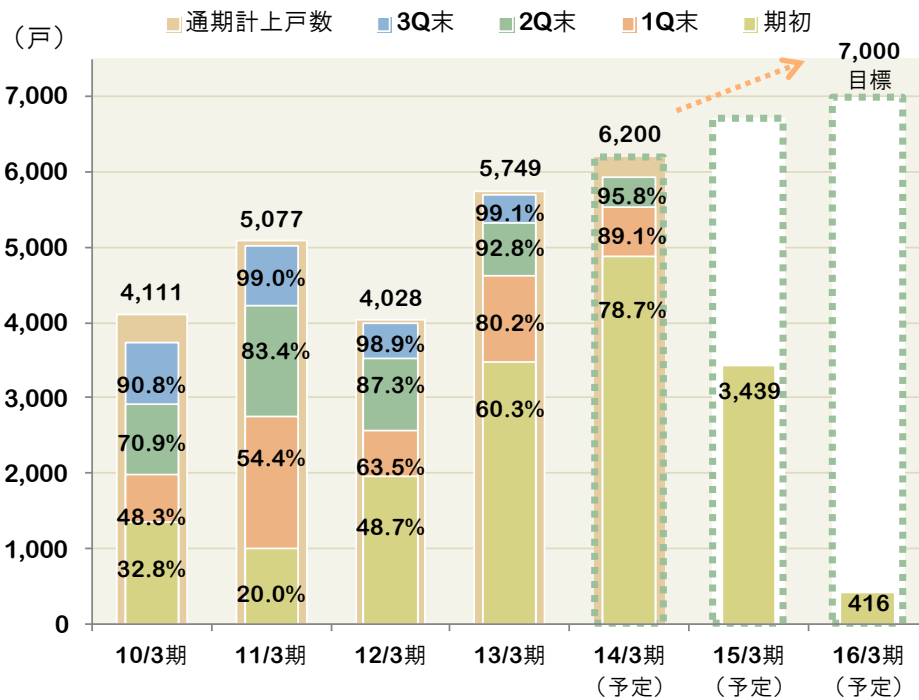
## ◆ 契約進捗率

過去最多となる今期計上予定戸数6,200戸に対し、2Q末時点で、**5,938戸(95.8%)**を契約済。さらに来期分で**3,439戸**、再来期分で**416戸**を既に契約済。

住宅分譲契約数



契約進捗率



## ◆ 利益率

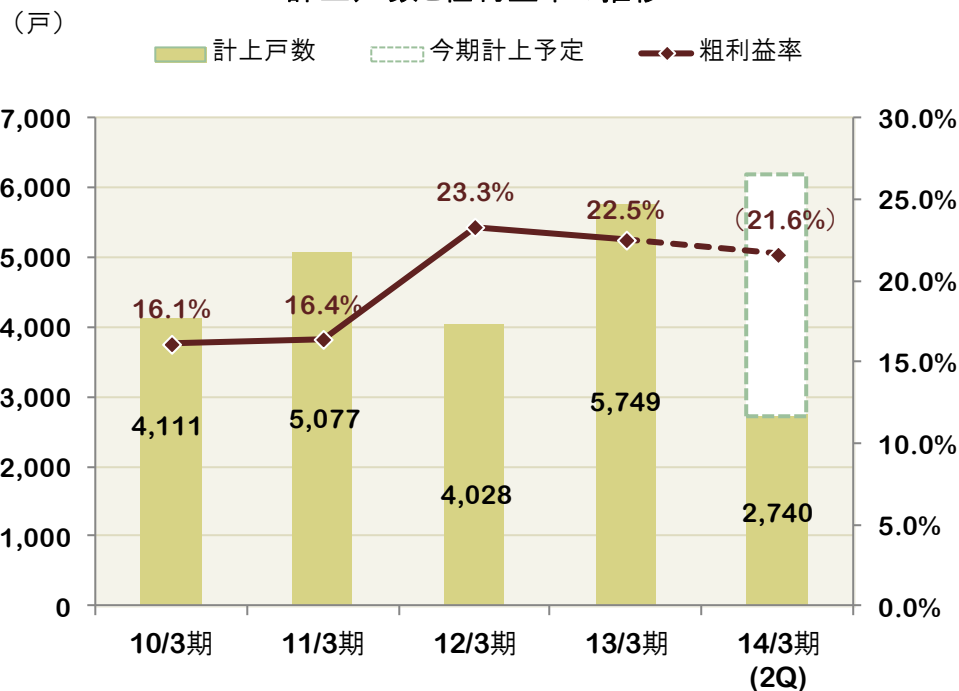
粗利益率は、13/3期から若干低下傾向にあるものの、引き続き**21.6%**と高水準を維持。

## ◆ 用地取得

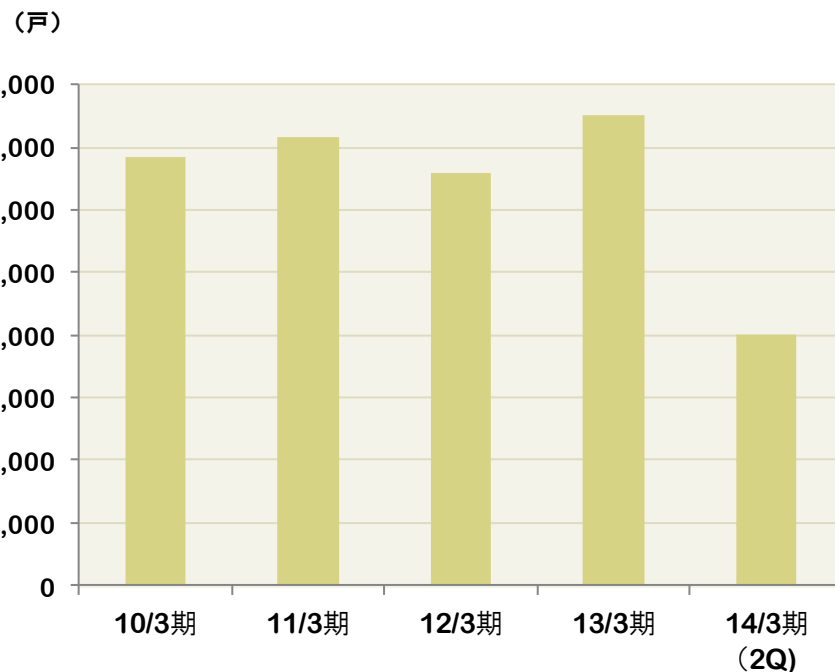
2Q末までに**4,000**戸分を取得、来期以降の用地ストックは**17,000**戸。マンション12,000戸、戸建1,000戸、再開発・建替等4,000戸の内訳。

※この他、参画段階の再開発ストックは4,000戸。

計上戸数と粗利益率の推移



取得戸数の推移



# 参考資料【住宅事業】「Tomihisa Cross Comfort Tower」

- ◆ JR山手線内における過去最高層・最大規模※となるタワーマンションプロジェクト。
- ◆ 9月末までに第1期1次482戸、10月から2次180戸を供給し、全て即日完売。



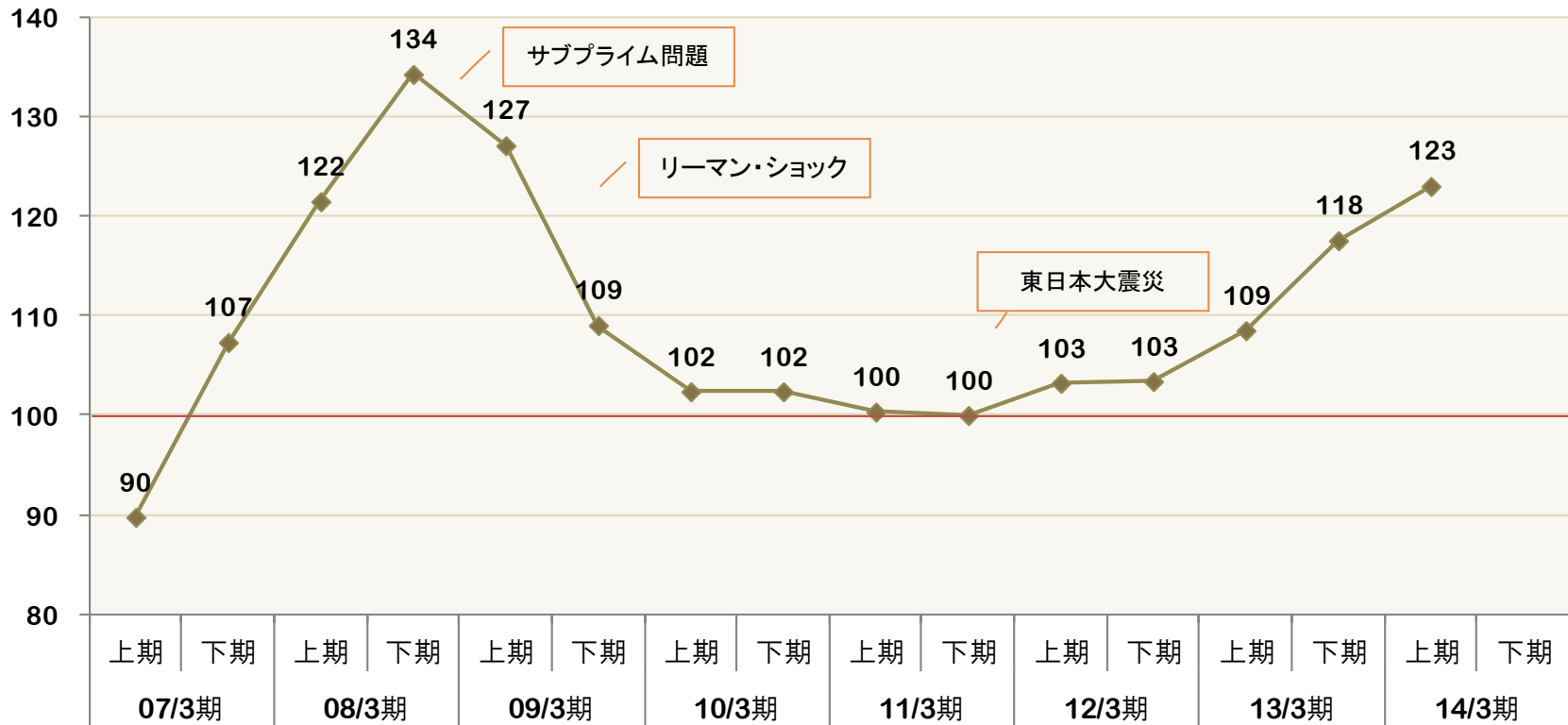
## <物件概要>

- ・物件名：Tomihisa Cross Comfort Tower
- ・所在地：東京都新宿区富久町
- ・総戸数：1,093戸(当社持分407戸)
- ・交通：丸ノ内線「新宿御苑前」駅 徒歩5分  
副都心線「新宿三丁目」駅 徒歩8分
- ・事業主：野村不動産株式会社・三井不動産レジデンシャル株式会社  
積水ハウス株式会社・阪急不動産株式会社
- ・引渡時期：2015年9月下旬(予定)
- ・最多販売価格帯：6,500万円台(第1期)

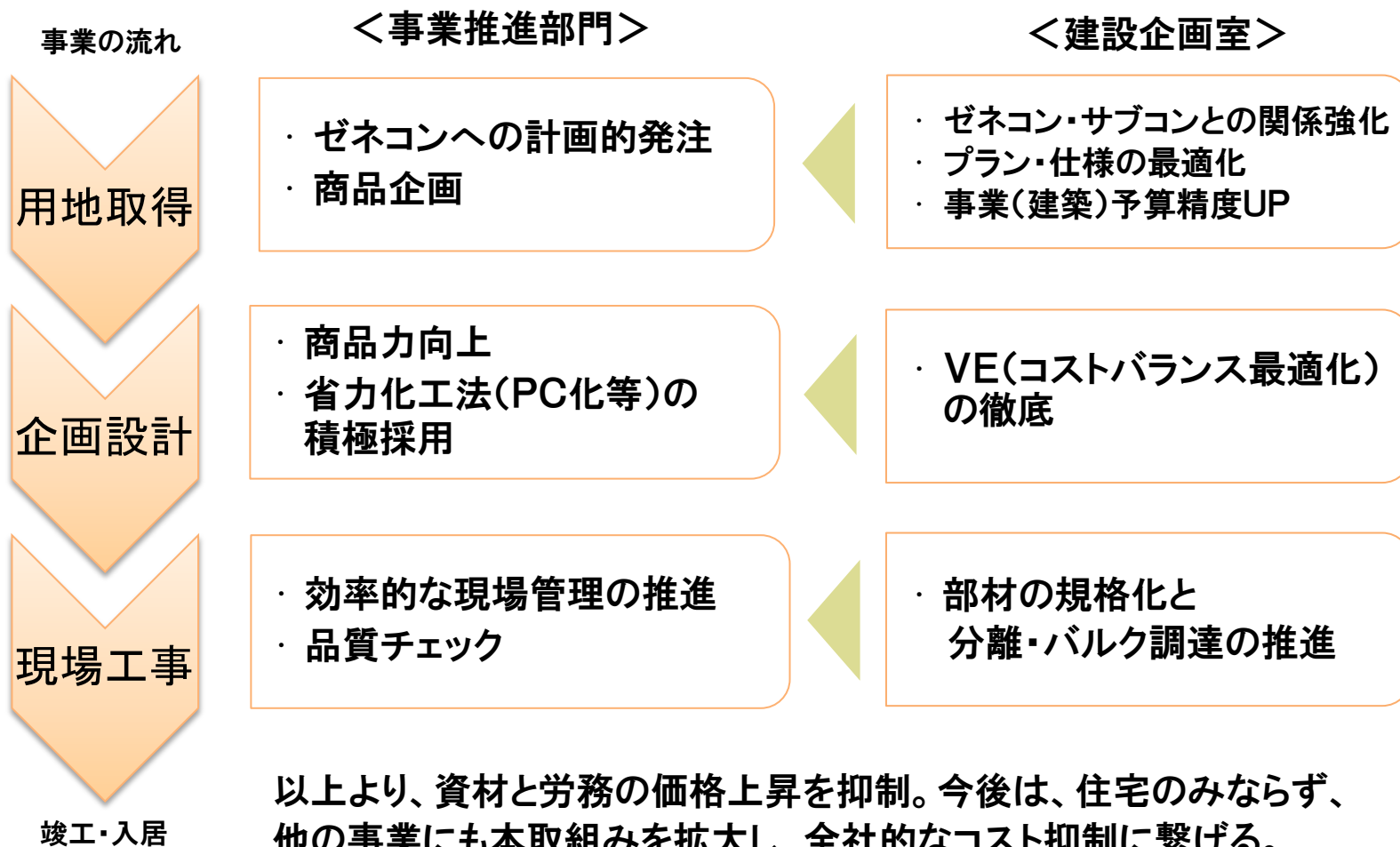
※ 1993年～2012年11月の期間にJR山手線内において分譲された新築民間マンションで55階建1,093戸は最大となります。MRC調べ

- ◆ 最近の上昇要因は、労務の逼迫、円安での資材価格上昇。
- ◆ 2011年3月期がボトム。14年3月期の上期実績でボトムから+23%まで上昇。

## 当社首都圏マンション建築費の推移



- ◆ 上昇トレンドを踏まえ、強みの建築技術とノウハウを発揮するために「建設企画室」を新設。
- ◆ 品質を確保しつつも、コストを抑制することを目的とした、全社横断的な取り組み。



# 参考資料【住宅事業】 今後の主なプロジェクト

14/3期	15/3期	16/3期	17/3期～
プラウドタワー千代田富士見レジデンス (東京都千代田区 137戸)	ザ・レジデンス三田 (東京都港区 105戸※2)	<b>CAPITAL GATE PLACE</b> (東京都中央区 247戸※1、2)	阿佐ヶ谷住宅建替えプロジェクト (東京都杉並区 308戸※2)
プラウドタワー東雲チャンネルコート (東京都江東区 600戸)	プラウドタワー白金台 (東京都港区 120戸)	<b>Tomihisa Cross Comfort Tower</b> (東京都新宿区 407戸※2)	木場3丁目プロジェクト (東京都江東区 153戸)
プラウド王子本町 (東京都北区 122戸)	プラウドタワー大泉学園 (東京都練馬区 165戸)	桜上水ガーデンズ (東京都世田谷区 258戸※2)	府中駅南口再開発プロジェクト (東京都府中市 111戸)
プラウドシティ元住吉 (川崎市中原区 266戸※2)	プラウド府中マークス (東京都府中市 231戸)	加賀一丁目プロジェクト (東京都板橋区 381戸)	立川駅前北口再開発プロジェクト (東京都立川市 292戸)
プラウドシティ淵野辺 (相模原市中央区 340戸)	プラウドタワー武蔵小杉 (川崎市中原区 303戸※2)	プラウドシティ仙川 (東京都調布市 275戸)	宮崎台プロジェクト (川崎市宮前区 435戸)
オハナ玉川上水ガーデンシア (東京都東大和市 322戸)	オハナふじみ野上野台 (埼玉県ふじみ野市 381戸)	八王子プロジェクト( <b>OHANA</b> ) (東京都八王子市 346戸)	志木本町5丁目プロジェクト (埼玉県志木市 392戸)

※1複数期計上。 ※2共同事業(戸数は当社持分)。

なお、表示物件の戸数・計上期は変更となる場合があります。



Tomihisa Cross Comfort Tower



桜上水ガーデンズ



CAPITAL GATE PLACE

# 【セグメント別概要： 賃貸事業】

◆ 既存テナントの賃料は横ばい傾向。空室率は低位に推移。  
2Q末時点の空室率は、**3.0%**(13/3期末比 +0.8ポイント)。

(単位: 億円)	13/3期 2Q 実績 ①	14/3期 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	13/3期 実績 ③	14/3期 修正予想 ④	増減額 ④-③	14/3期 当初予想 ⑤	増減額 ④-⑤
売上高	488	468	△20	1,066	920	△146	900	+20
賃貸(オフィス)	235	234	△1	478	—	—	—	—
賃貸(商業施設)	41	51	+10	88	—	—	—	—
賃貸(その他)	27	25	△1	54	—	—	—	—
収益不動産開発	101	89	△11	273	—	—	—	—
その他	82	66	△15	171	—	—	—	—
営業利益	142	141	△1	233	240	+6	235	+5
期末賃貸可能床面積 (㎡)	821,396	846,936	+25,540	835,115	—	—	—	—
オフィス	730,820	740,138	+9,318	728,236	—	—	—	—
商業施設	90,576	106,799	+16,222	106,879	—	—	—	—
期末空室率	1.9%	3.0%	+1.1P	2.2%	—	—	—	—

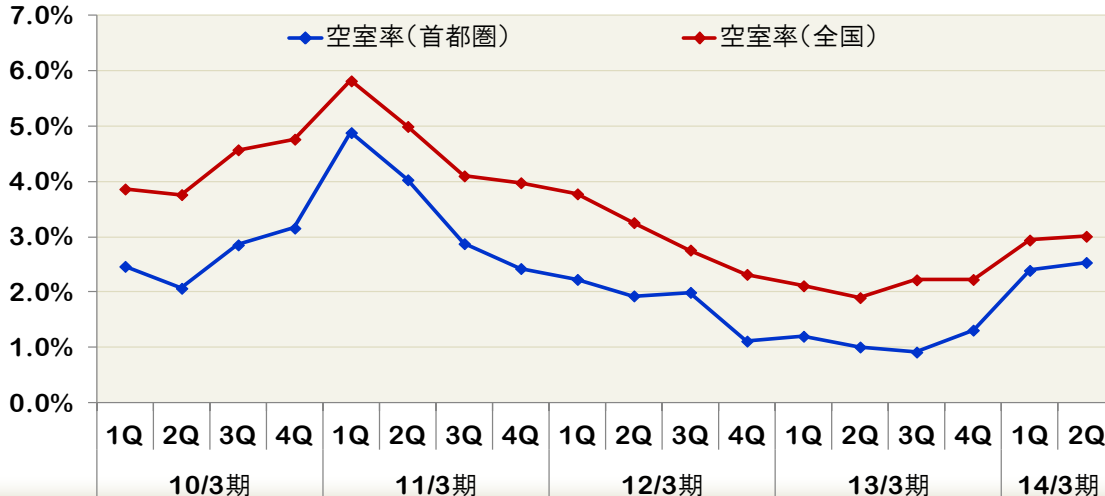
※賃貸(オフィス)はサブリース物件を含む

## 【ご参考】賃貸収入 増減分析

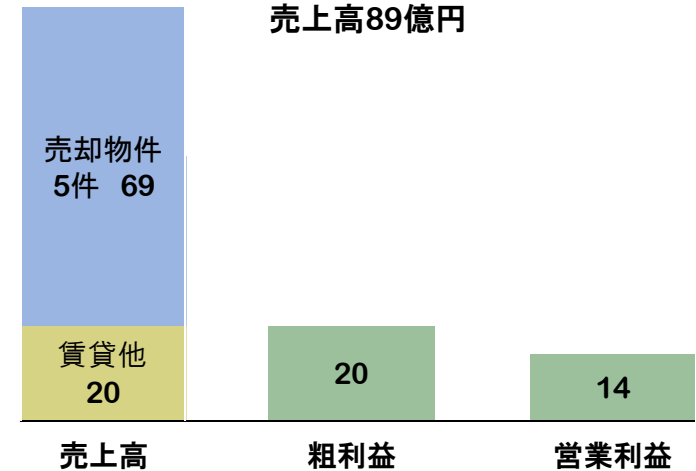
増減額

新規・通期稼働ビル	+17	bono相模大野ショッピングセンター等
既存ビル	△0	
売却・終了	△7	一部サブリース物件の契約終了等

## 当社 空室率の推移



## 収益不動産開発 売上高89億円

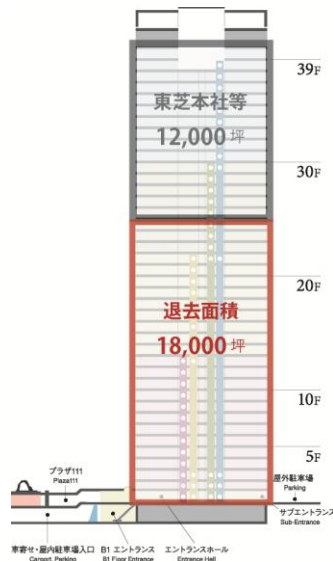


# 参考資料【賃貸事業】「浜松町ビルディング(東芝ビル)」について

- ◆ (株)東芝が浜松町ビルディング(東芝ビル)からラゾーナ川崎東芝ビルへ一部移転。
- ◆ ラゾーナ川崎東芝ビルは、(株)東芝が100%入居、2013年11月より稼働。
- ◆ 退去床(18,000坪)のリーシングが今後の課題。リニューアル後の2014年9月に本格稼働。



浜松町ビルディング(東芝ビルディング)

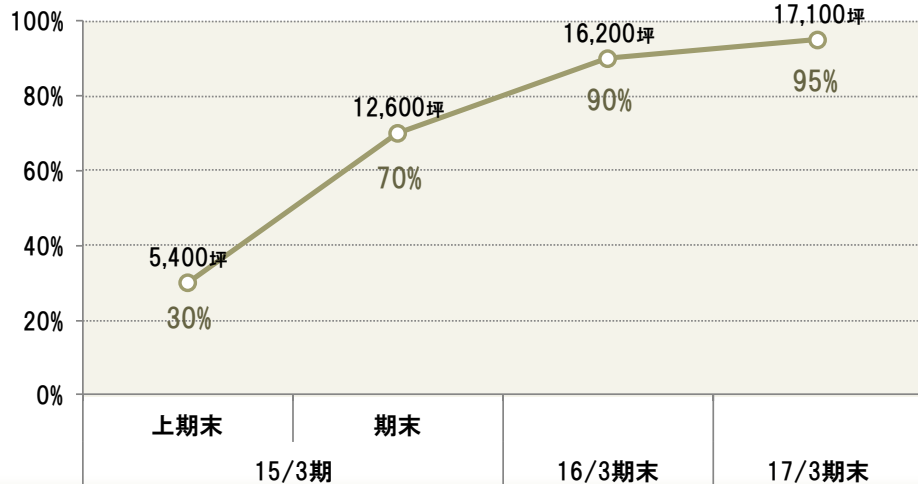


2013年11月より  
順次移転

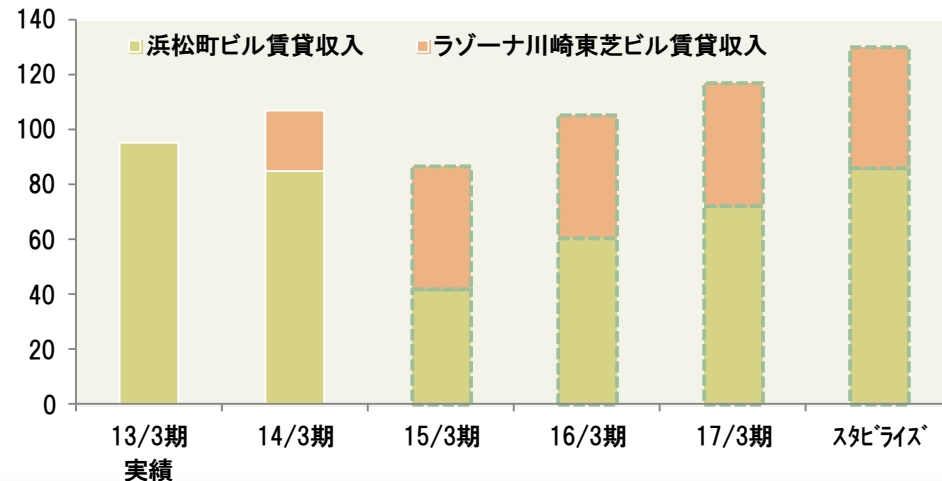


ラゾーナ川崎東芝ビル

浜松町ビルディング リーシング計画 (18,000坪)



賃貸収入の増減見通し(浜松町ビル+ラゾーナ川崎東芝ビル)

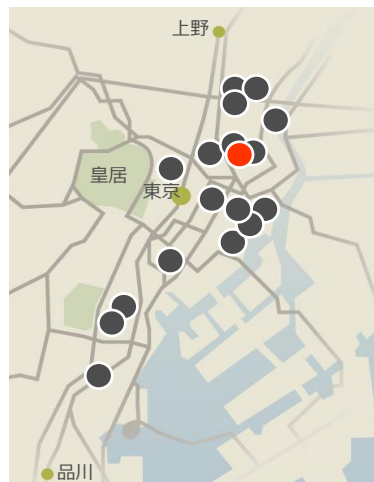




- ◆ 各セクターとも2Qまでに順調に取得。
- ◆ 都心中規模オフィス事業「PMO」  
年間取得目標6物件に対し、現在までに1物件取得済。  
その他、2物件を取得見込み。



**PMO**  
PREMIUM MIDSIZE OFFICE



PMO八重洲通(固定資産) 2013.5竣工・稼働

名称	所在地	貸床面積 ※当社持分	竣工(予定) 時期	状況
PMO日本橋室町	中央区日本橋室町	3,857㎡	2013/1	稼働中
PMO八重洲通	中央区八丁堀	5,003㎡	2013/5	稼働中
PMO神田司町	千代田区神田司町	3,436㎡	2013/9	稼働中
PMO田町	港区芝	約4,000㎡	2014/1(予定)	工事中
PMO銀座八丁目	中央区銀座	約2,000㎡	2014/4(予定)	工事中
PMO日本橋茅場町	中央区日本橋茅場町	約3,400㎡	2014/8(予定)	工事中
PMO芝公園	港区芝公園	約2,600㎡	2014/7(予定)	工事中
PMO芝大門	港区芝大門	約1,500㎡	2014/8(予定)	工事中
PMO日本橋江戸通※	中央区日本橋小伝馬町	約1,900㎡	2015/10(予定)	計画中
千代田区内	-	-	-	-
中央区内	-	-	-	-

※2014年3月期取得物件

- ◆ 都市型商業施設「GEMS」  
年間取得目標2~3物件に対し、現在までに1物件を取得済。  
その他、オーダーメイド型商業施設を1物件開発中。



GEMS市ヶ谷(シリーズ2棟目)  
所在地: 千代田区六番町  
取得: 2013.6 / 竣工: 2014.10 予定



吉祥寺本町プロジェクト(オーダーメイド型)  
所在地: 武蔵野市吉祥寺本町  
竣工: 2014.7 予定

- ◆ 物流施設「Land Port」  
年間取得目標2~3物件に対し現在までに1物件を取得済。



ランドポート八王子Ⅱ  
所在地: 八王子市石川町  
取得: 2013.11  
竣工: 2016.8 予定

# 参考資料【賃貸事業】 当社グループの主な保有物件

	名称	所在地	貸床面積 ※当社持分	竣工時期
1	横浜ビジネスパーク	神奈川県横浜市保土ヶ谷区	156,385㎡	1990/1他
2	浜松町ビルディング(東芝ビルディング)	東京都港区	103,425㎡	1984/3
3	ラゾーナ川崎東芝ビル	神奈川県川崎市幸区	78,609㎡	2013/3
4	ラゾーナ川崎プラザ	神奈川県川崎市幸区	46,988㎡	2006/9
5	新宿野村ビル	東京都新宿区	31,467㎡	1978/5
6	深川ギャザリア タワーN棟	東京都江東区	27,688㎡	2007/1
7	日本橋室町野村ビル	東京都中央区	22,259㎡	2010/9
8	野村不動産武蔵小杉ビル N棟・S棟	神奈川県川崎市中原区	20,519㎡	2010/3
9	梅田スカイビル	大阪府大阪市北区	20,067㎡	1993/3
10	bono相模大野SC	神奈川県相模原市南区	16,380㎡	2013/1
11	御堂筋野村ビル	大阪府大阪市中央区	13,428㎡	2009/2



浜松町ビルディング  
(東芝ビルディング)

日本橋室町野村ビル

新宿野村ビル 野村不動産武蔵小杉ビル N棟



ラゾーナ川崎東芝ビル 深川ギャザリア タワーN棟



ラゾーナ川崎プラザ

横浜ビジネスパーク

bono相模大野SC



梅田スカイビル

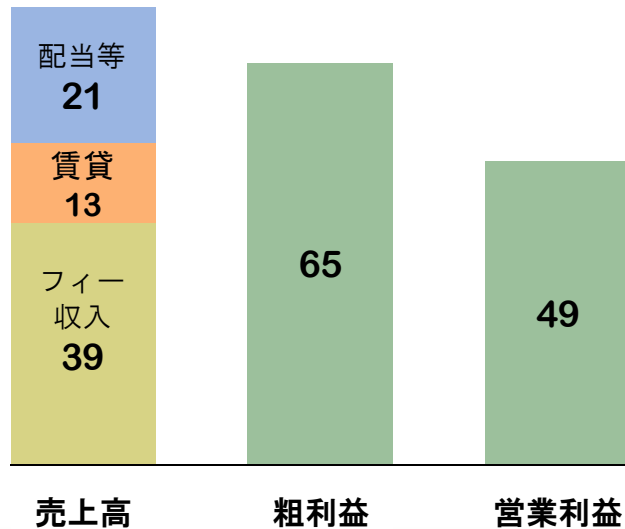
御堂筋野村ビル

# 【セグメント別概要： 資産運用事業】

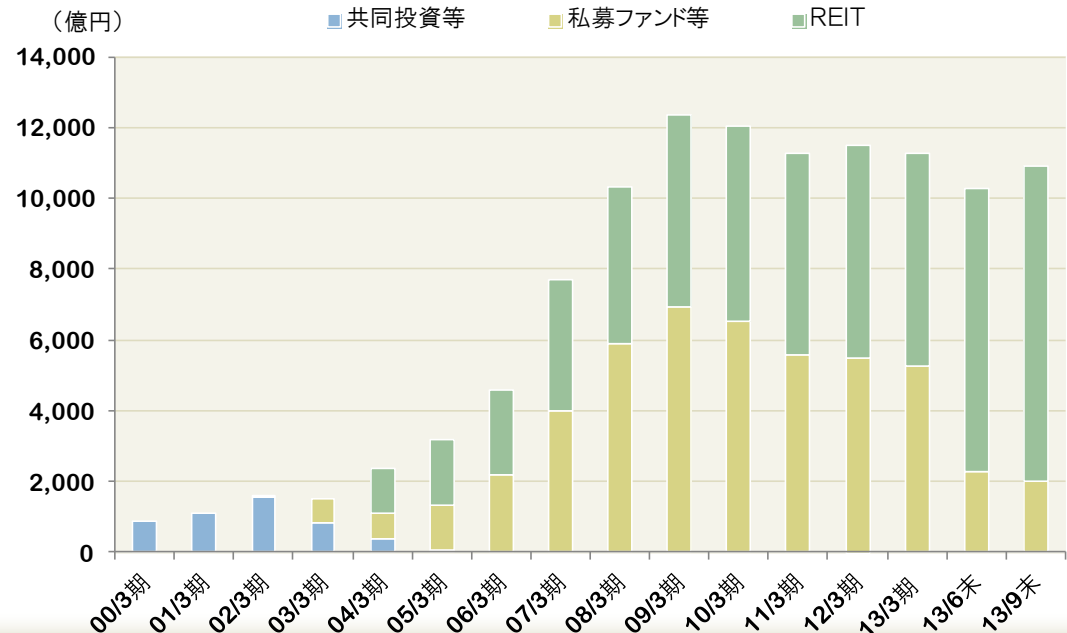
◆ 野村不動産マスターファンド投資法人の物件取得に伴う報酬の計上等により、増収増益。

(単位: 億円)	13/3期 2Q 実績 ①	14/3期 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	13/3期 実績 ③	14/3期 修正予想 ④	増減額 ④-③	14/3期 当初予想 ⑤	増減額 ④-⑤
売上高	53	74	+20	111	180	+68	170	+10
営業利益	27	49	+22	△27	80	+107	70	+10
期末運用資産残高	11,328	10,903	△425	11,274	—	—	—	—
REIT	5,980	8,900	+2,919	5,993	—	—	—	—
私募ファンド等	5,347	2,003	△3,344	5,281	—	—	—	—

収益ブレイクダウン  
売上高 74億円



期末運用資産残高の推移



# 【セグメント別概要： 仲介・CRE事業】

◆ 売買仲介手数料の大幅な増加により、増収増益。

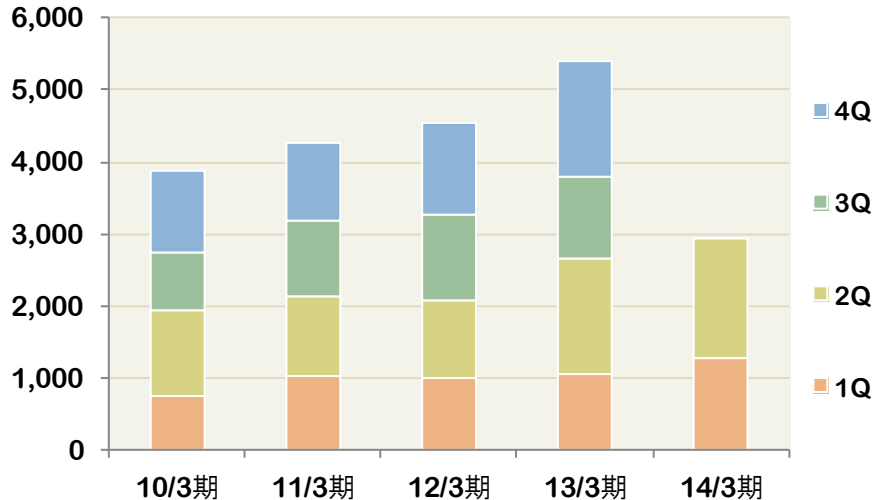
(単位: 億円)	13/3期 2Q 実績 ①	14/3期 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	13/3期 実績 ③	14/3期 修正予想 ④	増減額 ④-③	14/3期 当初予想 ⑤	増減額 ④-⑤
売上高	124	132	+7	260	250	△10	240	+10
売買仲介	86	112	+26	192	—	—	—	—
その他	38	20	△18	68	—	—	—	—
営業利益	22	34	+11	61	55	△6	50	+5

## 【売買仲介関連指標】

取扱高(億円)	2,659	2,945	+285	5,406	—	—	—	—
取扱件数(件)	3,050	3,701	+651	6,494	—	—	—	—
手数料額(億円)	86	112	+26	192	—	—	—	—
手数料率(%)	3.2%	3.8%	+0.6P	3.6%	—	—	—	—

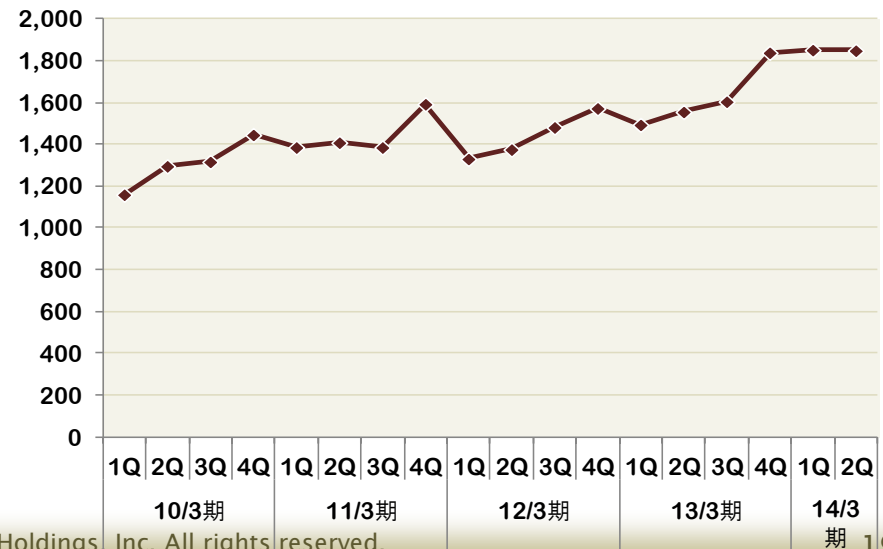
(億円)

### 売買仲介取扱高



(件)

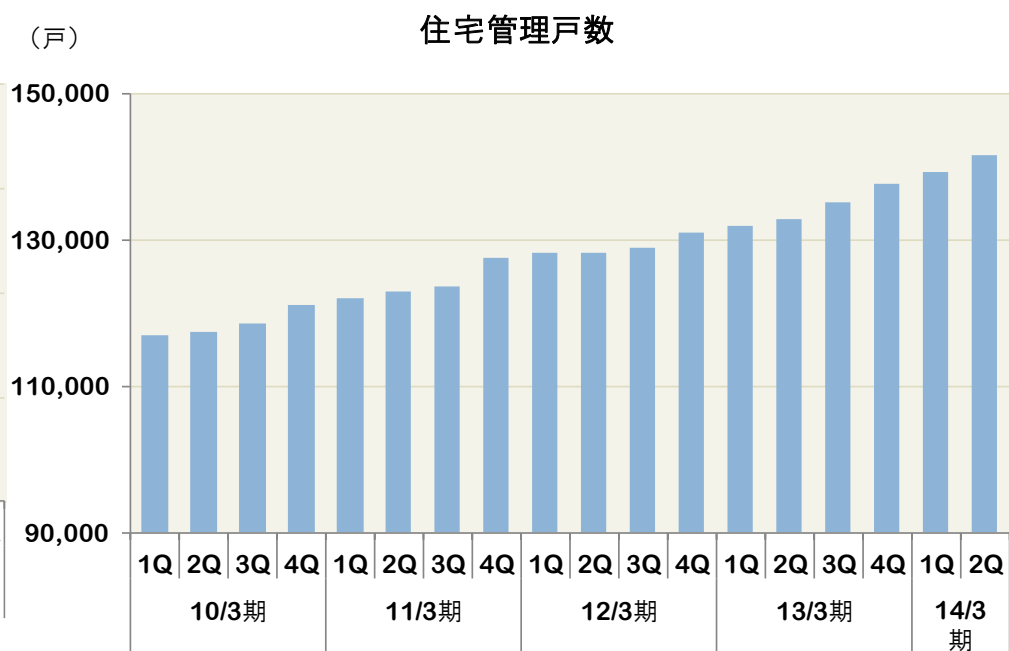
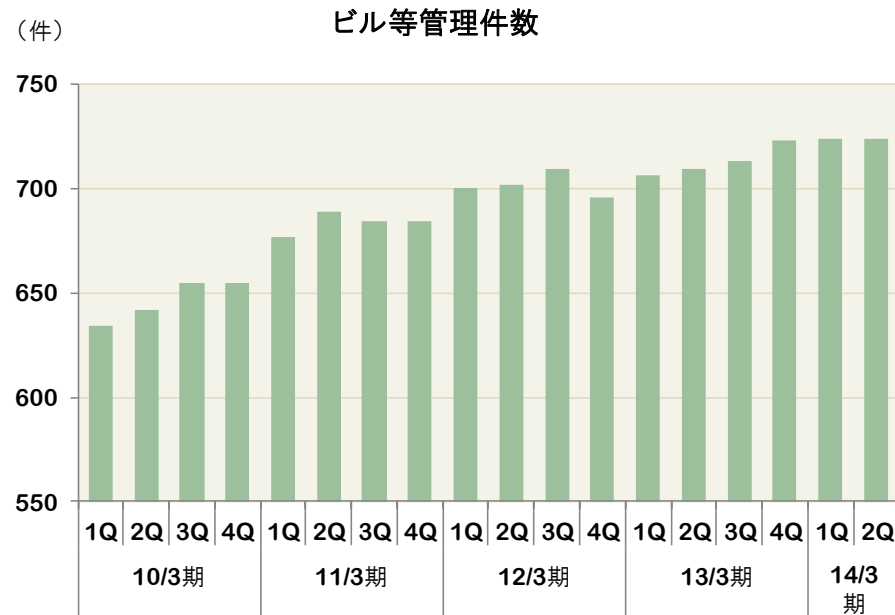
### 売買仲介取扱件数



# 【セグメント別概要： 運営管理事業】

◆ 管理ストックの着実な積み上げによる管理収入の増加等により、増収増益。

(単位:億円)	13/3期 2Q 実績 ①	14/3期 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	13/3期 実績 ③	14/3期 修正予想 ④	増減額 ④-③	14/3期 当初予想 ⑤	増減額 ④-⑤
売上高	306	324	+17	663	700	+36	700	±0
ビル管理	194	201	+6	424	—	—	—	—
住宅管理	111	123	+11	239	—	—	—	—
営業利益	19	20	+1	44	45	+0	45	±0
ビル等管理件数(件)	709	724	+15	723	—	—	—	—
住宅管理戸数(戸)	132,788	141,712	+8,924	137,745	—	—	—	—



◆ 仲介・CRE事業では新ブランドを立ち上げ、運営管理事業では子会社2社を合併予定。

◆ リテール部門のブランド戦略(仲介・CRE)

2013年10月に、野村不動産アーバンネットが新ブランド「野村の仲介+」を発表。



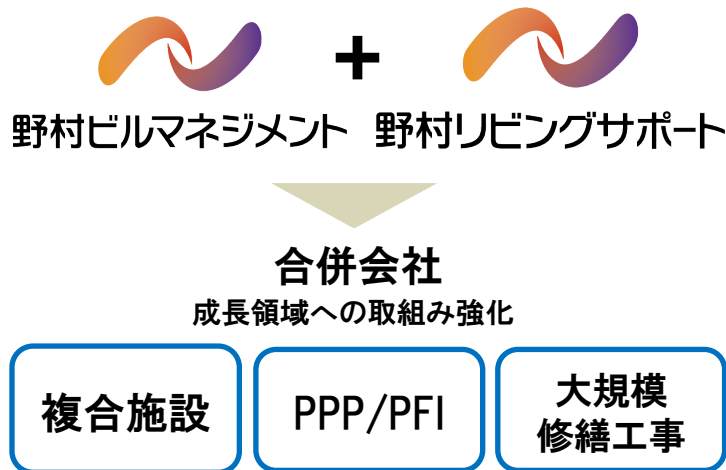
あの人に、頼んでよかった。  
野村の仲介+ PLUS

ネットで住みかえ ノムコム  
nomu.com

不動産情報サイト「nomu.com」と「野村の仲介+」の2つのブランドを軸に、営業基盤を強化し、仲介・CRE事業の一層の成長を図る。

◆ グループ内管理会社の合併(運営管理)

2014年4月に、オフィス等を管理する野村ビルマネジメント、マンション等を管理する野村リビングサポートを合併。

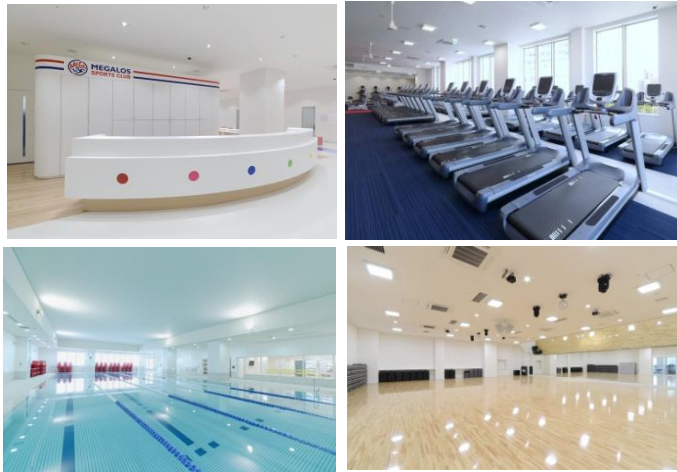


それぞれの強みの融合を図り、運営管理分野における事業領域の拡大を図る。

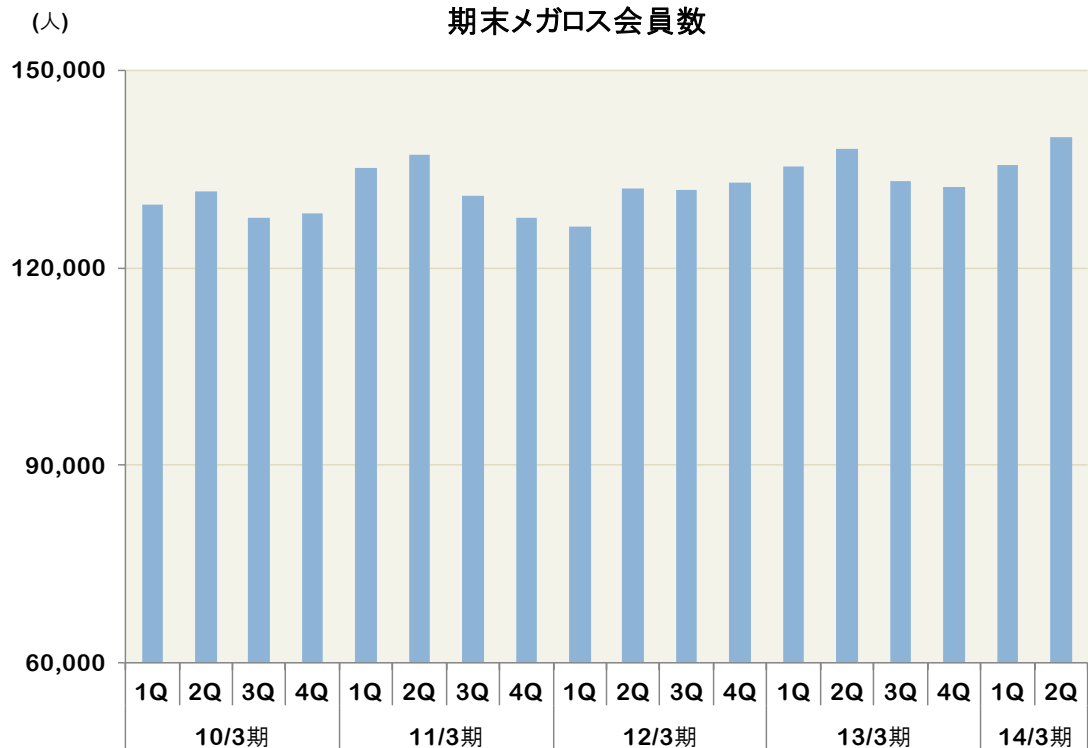
# 【セグメント別概要： その他の事業】

## ◆ フィットネスクラブ事業は、順調に推移。

(単位: 億円)	13/3期 2Q 実績 ①	14/3期 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	13/3期 実績 ③	14/3期 修正予想 ④	増減額 ④-③	14/3期 当初予想 ⑤	増減額 ④-⑤
売上高	73	97	+24	149	170	+20	190	△20
営業利益	2	2	+0	4	5	+0	5	±0
期末メガロス会員数(人)	138,061	139,857	+1,796	132,196	—	—	—	—
期末メガロス施設数(件)	26	27	+1	26	—	—	—	—



メガロス相模大野(2013年5月オープン)  
“bono相模大野SC”内



## 野村不動産ホールディングス株式会社 広報IR部

部長	北井 大介
マネージャー	平野 雄祐
	千種 秀晶
	西山 明里

TEL 03-3348-8117

[info@nomura-re-hd.com](mailto:info@nomura-re-hd.com)

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品についての募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれていますが、このような記述は将来の業績を保証するものではありません。本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性及び安全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。事前の承諾なしに本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止します。